

令和 5年 9月14日

報道機関 各位

令和5年度 大学コンソーシアム富山 学生地域リーダー塾 開催について

■ 概要

このたび大学コンソーシアム富山では、県内高等教育機関の学生を対象に「学生地域リーダー塾」を開催いたします。今年度の実施校は富山大学です。

本取組は、参加学生が、フィールドワーク等を通して、地域の魅力や課題等に直接触れながら、課題解決のアイデアを考えることで、地域貢献の意識を育み、リーダーシップ力・コミュニケーション力・課題解決力を高めるとともに、参加学生の機関の枠を超えた交流・連携を深めることを目的とするものです。

今年度は高岡市をフィールドに「SDGs で考える高岡の魅力・課題～人と/地域と/自分とつながる2日間～」と題して、ワークショップとフィールドワークを行います。

つきましては、当日の取材・報道について、よろしくお願いいたします。

■ 日時・場所

日時：令和5年9月17日（日）・18日（月・祝） 10:00～16:30

場所：高岡まちなかスタートアップ支援施設「TASU」

（高岡市御旅屋町101番地 御旅屋 SERIO 4階）

■ 内容

9月17日（日）午前：開講式、高岡市長の講演、グループワーク

午後：高岡市内でのフィールドワーク

9月18日（月・祝）

午前：ディスカッション

午後：発表、閉校式

* 内容の詳細は、別添のチラシ及び募集要項をご参照ください。

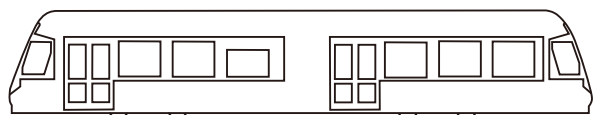
【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学 地域連携戦略室 尾山

TEL：076-445-6177(直通) Email：oyama@ctg.u-toyama.ac.jp

令和5年度 大学コンソーシアム富山 学生地域リーダー塾

SDGsで考える高岡の魅力・課題
人と / 地域と / 自分とつながる2日間



日 時：令和5年9月17日(日)18日(月・祝)10:00~16:30
場 所：高岡まちなかスタートアップ支援施設「TASU」(高岡市御旅屋町101番地 御旅屋 SERIO4階)
及びフィールドワーク先から希望する1箇所(別紙参照)
参 加 費：無料(昼食付き)
申 込 込 み：申し込みフォームより <https://forms.gle/9mRUdz1ALhdaPVk39>
締 切 切 り：8月25日(金)
問 合 合 せ 先：富山大学研究推進部社会貢献課(総合連絡先)
T E L：076-445-6091
E - m a i l：chiiki@adm.u-toyama.ac.jp



富山県内の
大学生・短大生・高専生
誰でも参加OK!!!



【募集要項】

大学コンソーシアム富山 令和5年度 学生地域リーダー塾
SDGsで考える高岡の魅力・課題～人と/ 地域と/ 自分とつながる2日間～

- 日時: 令和5年9月17日(日)18日(月・祝)10:00~16:30
- 場所: 高岡まちなかスタートアップ支援施設「TASU」及び高岡市内のフィールドワーク先
- 主催: 大学コンソーシアム富山
- 実施校: 富山大学
- 助成: 公益財団法人 富山県ひとつくり財団
- 趣旨: 県内の学生が、地域の魅力や地域の課題等について学び、その課題をともに考えることを通して、地域貢献の意識を育むと共に、リーダーシップ力・コミュニケーション力・課題解決力を高めることを目的とする。また、各高等教育機関の枠を越えた研修により、参加学生間の交流・連携を深め、ひいては相互の主体的な活動による大学等間の連携の推進を目指す。
- 対象学生: 課外活動等のリーダー、地域貢献に関心のある学生他
(富山県内の大学・短大・高専の学生は誰でも参加OK!!!)
- 参加人数: 学生40名程度及び教職員
- 参加費: 無料(昼食付き)
- 研修日程

9月17日 (日)	10:00 ~ 12:00	STEP1「自分とつながる、人とつながる」 <ul style="list-style-type: none"> ● 開講式および関係者紹介・概要説明・確認事項 ● アイスブレイク、自己紹介 ● 事前学習: 高岡市(SDGs)の概要(市へ依頼) ● グループワーク(自分や他者との対話)
		昼食(無料)
9月18日 (月・祝)	13:00 ~ 16:30	STEP2「社会に出てみて感じる」 <ul style="list-style-type: none"> ● フィールドワーク(申込時に希望をだしてもらった先へグループ別に移動して活動内容やその方の人となりのお話を聞きつつ対話する) ● チェックアウト(会場に集まり気づきなどの共有) 1日目の終了・解散
	10:00 ~ 12:00	STEP3「感じた発見をシェアして深めてみる」 <ul style="list-style-type: none"> ● グループを再構成し自分たちのテーマにそった地域との関わりを考える(ホールシステムアプローチの一つ OST を用いたディスカッション)
	13:00 ~ 16:30	STEP4「社会・自分・人との対話から再発見する」 <ul style="list-style-type: none"> ● 発表(ディスカッション内容を全体シェア) ● チェックアウト(各自の成果の確認) 修了・解散

■ フィールドワーク先(希望先を1つ選び訪問)

テーマ	会う人 (フィールドワーク先)
<p>【A】 循環型農業</p>	<p>clover farm 青沼光(あきら)さん (牧場)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>※注: 家畜への感染症対策として3週間以内に海外渡航歴のある方は訪問できません。</p>
<p>【B】 外国籍の人も 生きやすく (外国籍若者の 学習支援など)</p>	<p>NPO法人アレッセ高岡 理事長 青木由香さん</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
<p>【C】 地域も人も輝く 社会をめざして</p>	<p>塩谷建設株式会社 代表取締役社長 塩谷 洋平さん</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
<p>【D】 伝統と未来 (伝統文化・まちづくり)</p>	<p>タカポケ事務局／昆布締め専門店「クラフタン」 代表 竹中志光さん</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
<p>【E】 子育てしやすい 社会を</p>	<p>ファミリーユ株式会社 代表取締役社長 高木奈津美さん(子育てシェアハウスあかまる)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>